

## 平成25年度の入札・契約状況

### I 建設工事編

#### 1 契約状況

平成25年度における建設工事の契約件数は、828件(一般:682件、指名:130件、随契:16件)で、契約額は約323億円(一般:約303億円、指名:約18億円、随契:約2億円)であった。

契約件数は、平成24年度と同件数だが、平成23年度と比較すると176件減少しており、契約額は、平成24年度と比較して約5億円、平成23年度と比較して約60億円減少している。

平成25年度における一般競争入札の割合は、件数ベースで82.4%、契約額ベースで93.5%であった。

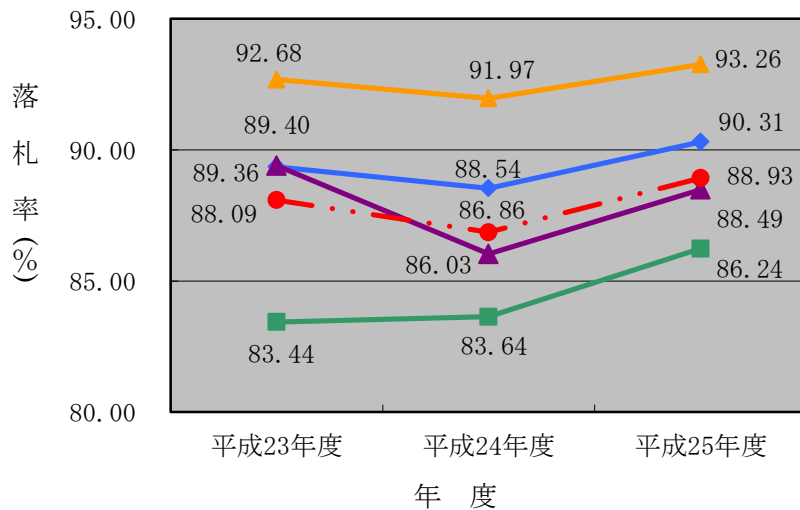
#### (1) 主なデータ

発注方式別の契約

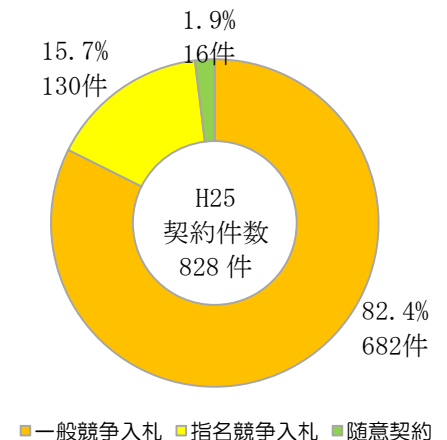
(単位：件、百万円、%)

区 分	平成 23 年度			平成 24 年度			平成 25 年度		
	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
一般競争入札	814	35,389	87.19	686	30,235	85.89	682	30,236	88.11
指名競争入札	161	2,734	92.68	130	2,297	91.97	130	1,839	93.26
随意契約	29	181	98.15	12	247	98.60	16	246	98.43
計	1,004	38,304	88.38	828	32,779	87.03	828	32,321	89.12
一般競争の割合	81.1	92.4	—	82.9	92.2	—	82.4	93.5	—

型式別落札率の変動



発注方式別割合



◆ 技術資料提出型    ■ 格付等級指定型    ▲ 総合評価方式  
▲ 指名競争入札    ● 競争入札平均落札率

## (2) 主要5工種の契約状況

工種別の契約状況

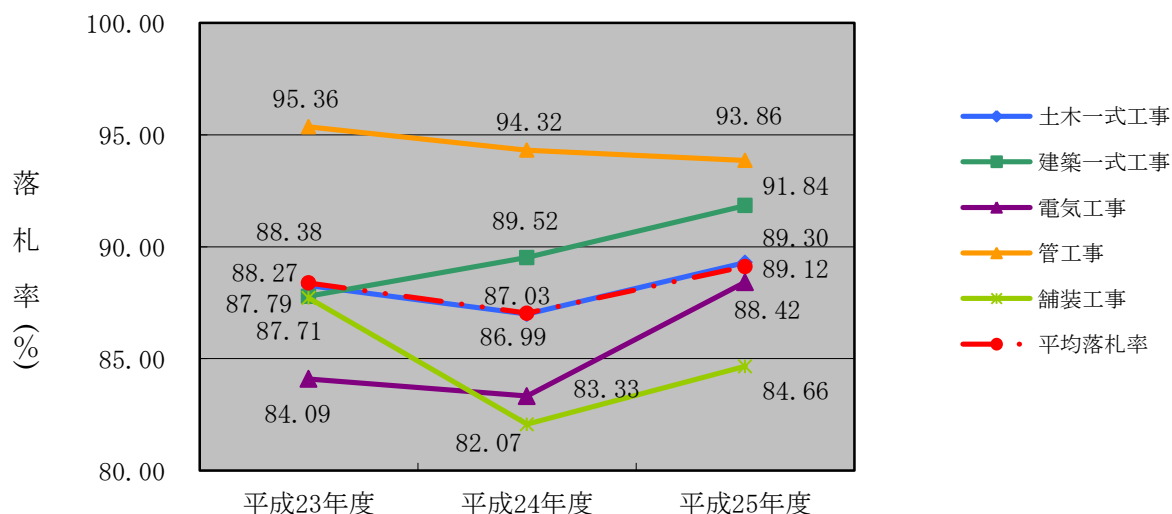
(単位：件、百万円、%)

区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
土木一式工事	600	21,205	88.27	490	18,893	86.99	512	17,746	89.30
建築一式工事	57	6,744	87.79	51	6,038	89.52	36	1,605	91.84
電気工事	63	2,548	84.09	51	1,926	83.33	48	1,570	88.42
管工事	65	1,845	95.36	40	1,497	94.32	23	720	93.86
舗装工事	88	2,172	87.71	89	2,033	82.07	81	1,666	84.66
その他工事	131	3,791	88.21	107	2,392	89.16	128	9,014	89.86
計	1,004	38,305	88.38	828	32,779	87.03	828	32,321	89.12

※その他工事：とび・土工、さく井、機械器具設置、建具、鋼構造、水道施設、造園、電気通信、塗装、内装仕上げ、防水工事

- ・平成25年度における建設工事の平均落札率は89.12%であった。平成24年度と比較すると約2%、平成23年度と比較すると約1%上がっている。
- ・最も落札率の変動が大きい工種は電気工事で、平成24年度と比較すると約5%、84.09%(平成23年度)から88.42%(平成25年度)と3年間で約4%上がっている。
- ・落札率が最も高い工種は、管工事が93.86%であった。平成24年度と比較すると約0.5%下がっているが、90%台を変動し最も高い落札率となった。
- ・落札率が最も低い工種は、舗装工事が84.66%であった。平成24年度と比較すると約3%上がっているが、80%台を変動し最も低い落札率となった。

主要5工種の年度別落札率



(3) 主要5工種におけるランク（工事等級）別の状況

- ・平成25年度における建設工事の主要5工種の平均落札率は88.98%であった。平成24年度と比較すると約2%、平成23年度と比較すると約1%上がっている。
- ・最も落札率の変動が大きい工種は舗装工事のAランクで、平成24年度と比較すると約2%上がっているが、91.16%(平成23年度)から85.33%(平成25年度)と3年間で約6%下がっている。
- ・落札率が最も高い工種は、管工事のB等級で94.91%であった。平成24年度と比較すると約2%上がっており、90%台を変動し最も高い落札率となった。
- ・落札率が最も低い工種は、舗装工事のB等級で83.28%であった。平成24年度と比較すると約2%上がっているが、80%台を変動し最も低い落札率となった。

主要5工種における等級別発注請負工事金額別の状況 (単位：件、百万円、%)

区分		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
土木一式工事	A	177	15,719	89.03	172	14,380	86.57	153	12,366	88.11
	B	177	3,923	88.62	158	3,419	88.06	188	4,122	89.43
	C	167	1,330	86.96	118	959	85.69	126	1,107	89.35
	D	79	232	88.56	42	135	88.37	45	151	92.63
建築一式工事	A	20	6,007	87.88	14	5,219	88.83	5	1,031	92.06
	B	18	575	86.27	18	642	87.93	13	345	90.01
	C	19	163	89.13	19	177	91.54	18	229	93.10
電気工事	A	37	2,387	84.21	28	1,794	80.93	23	1,404	89.38
	B	17	131	84.10	14	112	83.11	19	150	87.84
	C	9	30	83.60	9	20	91.11	6	16	86.56
管工事	A	32	1,617	95.35	21	1,373	95.65	9	604	93.45
	B	24	199	95.18	14	110	93.00	12	109	94.91
	C	9	29	95.88	5	14	92.44	2	7	89.38
舗装工事	A	57	1,961	91.16	51	1,758	82.88	43	1,425	85.33
	B	28	204	81.43	33	261	81.09	28	210	83.28
	C	3	7	80.82	5	14	80.30	10	31	85.63
計		873	34,514	88.41	721	30,387	86.71	700	23,307	88.98

【参考】 等級別発注請負工事金額 (単位：万円)

区分	土木一式工事	建築一式工事	電気・舗装・管工事
A	4,000 ~	8,000 ~	1,500 ~
B	1,500 ~ 4,000	2,000 ~ 8,000	500 ~ 1,500
C	500 ~ 1,500	~ 2,000	~ 500
D	~ 500	—	—

## 2 履行能力確認調査の状況

・平成 23 年度以降の一般競争入札で低入札調査基準価格を設定した件数に対する調査件数の発生率は平成 23 年度が 5.0%(9 件)、平成 24 年度が 2.4%(5 件)で、平成 25 年度は 1.9%(4 件)であった。

・低入札価格調査件数が減少したのは、平成 23 年度から以下の低入札対策を講じた成果であると考えられる。

- (1) 低入札価格調査の対象者と契約する場合に、配置予定技術者及び追加技術者のどちらかに同種・同規模の完成実績を求める。
- (2) 履行保証金額を 1/10 から 3/10 に引き上げる。
- (3) 中間前払金は、支払わない。

一般競争入札における低入札の状況

(単位：件、%)

区 分		件数	調査基準 価格設定 件数	履行能力確認調査			
				低入札 価格調査 件数	低入札率	落札者とし なかった 件数	排除率
平成 23 年度	一般競争	814	179	9	5.0	0	—
	総合評価	179	179	9	5.0	0	—
平成 24 年度	一般競争	686	206	5	2.4	0	—
	総合評価	206	206	5	2.4	0	—
平成 25 年度	一般競争	682	212	4	1.9	0	—
	総合評価	212	212	4	1.9	0	—

・平成 25 年度においてくじにより落札決定された割合は 18.8%であった。平成 23 年度及び平成 24 年度と比較すると約 8%下がっている。平成 22 年度以降の上昇の原因としては、以下のようなことが考えられる。

- (1) 平成 21 年 12 月に最低制限価格等の算定基準を公表した。
- (2) 入札参加業者の積算能力等が向上した。
- (3) 公共事業投資の減少により受注に対する競争が激化した。

・平成 24 年度以降は、予定価格の事後公表を実施したことに伴いくじ件数が減少した。

くじの状況

(単位：件、%)

年 度	一般競争入札		指名競争入札		競争入札 (合計)	
	全件数	くじ件数	全件数	くじ件数	全件数	くじ件数
平成 23 年度	814	255 (31.3)	161	9 (5.6)	975	264 (27.1)
平成 24 年度	686	202 (29.4)	130	15 (11.5)	816	217 (26.6)
平成 25 年度	682	148 (21.7)	130	5 (3.8)	812	153 (18.8)

### 3 総合評価方式の実施状況

- ・公共工事における「価格のみの競争」から「価格と品質で総合的に優れた調達」への転換を目的とした「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が平成 17 年 4 月に施行されたことを受けて、更なる工事品質の向上を図ることを目的に、総合評価方式を平成 18 年度から試行し、平成 23 年度は 179 件（簡易型：145 件、標準型：34 件）、平成 24 年度は 206 件（簡易型：180 件、標準型：26 件）実施した。
- ・平成 25 年度における総合評価方式の入札件数は 212 件（簡易型：184 件、標準型：28 件）で、契約金額は約 234 億円（簡易型：約 137 億円、標準型：約 97 億円）であった。
- ・一般競争入札中、総合評価方式の占める割合は、件数では 31.1%、契約金額では 77.3%を占めている。
- ・総合評価方式の平均落札率は 88.49%で、一般競争入札全体の平均落札率の 88.11%より約 0.4%高くなっている。
- ・総合評価方式により最低価格者以外が落札した逆転件数及び発生率は 85 件、40.1%となっている。

平成 25 年度 総合評価方式の入札状況

(単位：件、百万円、%)

区 分	件数	契約金額	一般競争に占める割合		平均 落札率	最低価格者以外の落札	
			件数	契約金額		件数	逆転率
一般競争入札	682	30,236	—	—	88.11	—	—
総合評価方式	212	23,365	31.1	77.3	88.49	85	40.1
簡易型Ⅰ型	166	12,467	24.3	41.2	88.22	77	46.4
簡易型Ⅱ型	18	1,166	2.6	3.9	88.16	3	16.7
標準型Ⅰ型	3	5,541	0.4	18.3	85.83	0	—
標準型Ⅱ型	25	4,191	3.7	13.9	90.83	5	20.0

※最低価格者以外の落札件数には、最低価格者が同額で複数者いる場合で技術点が高く落札決定した件数も含む。

#### ※ 総合評価方式における落札決定方法

予定価格の制限の範囲内で入札を行った者のうち、落札者決定基準に基づき算定した点数の総和（加算点）に標準点（100点）を加え、入札価格で除して得られる数値（評価値）が最も高いものを落札者として決定する。

#### 4 予定価格事後公表の実施状況

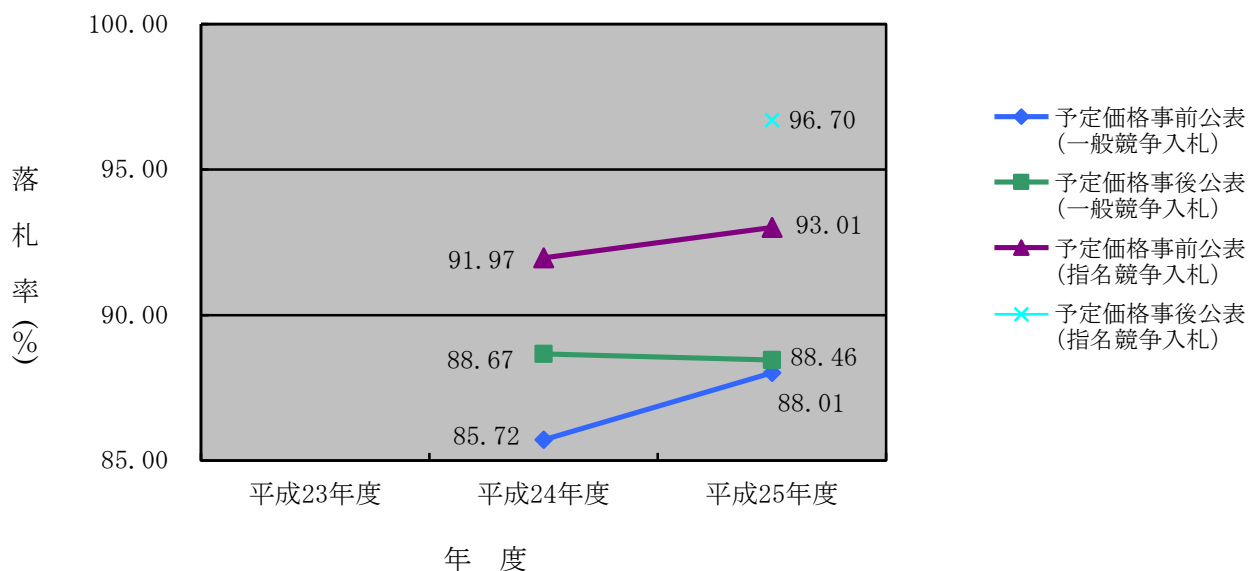
- ・総務大臣、国土交通大臣からの公共工事の入札及び契約の適正化の推進に関する要請や、近年の事後公表を行っている自治体数の漸増を踏まえ、一定の対応をする必要があることから、平成24年度から予定価格の事後公表を一部の案件において実施した。
- ・総合評価一般競争入札のうち標準型で実施した一部（23件）及び発注件数の2割程度（138件）を対象とした。
- ・予定価格を入札後に公表する案件を、平成24年度においては各部5件程度（総合評価方式の標準型は全件）であったものを、平成25年度は、発注件数の2割程度（総合評価方式の標準型は全件）とした。

予定価格事後公表の実施状況

(単位：件、%)

年 度	予定価格事前公表 (一般競争入札)		予定価格事後公表 (一般競争入札)		予定価格事前公表 (指名競争入札)		予定価格事後公表 (指名競争入札)	
	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
平成23年度	—	—	—	—	—	—	—	—
平成24年度	647	85.72	39	88.67	130	91.97	—	—
平成25年度	530	88.01	152	88.46	121	93.01	9	96.70

予定価格事前・事後公表における落札率



## II 建設業関連業務委託編

### 1 契約状況

平成25年度における建設業関連業務委託の契約件数は、565件(一般:191件、指名:361件、随契:13件)で、契約額は約28億円(一般:約6億円、指名:約21億円、随契:約1億円)であった。

契約件数は、平成24年度と比較して71件増加、平成23年度と比較して79件減少しており、契約額は、平成24年度と比較して約4億円増加、平成23年度と比較して約4億円減少している。

また、平成23年度から入札契約の手続に関する透明性、公平性を確保するため一般競争入札を導入し、平成25年度においては191件実施した。

平成25年度における一般競争入札の落札率は86.31%であり、平成24年度と比較して約4%上がっているが、指名競争入札の落札率(88.26%)と比較すると約2%低くなっている。

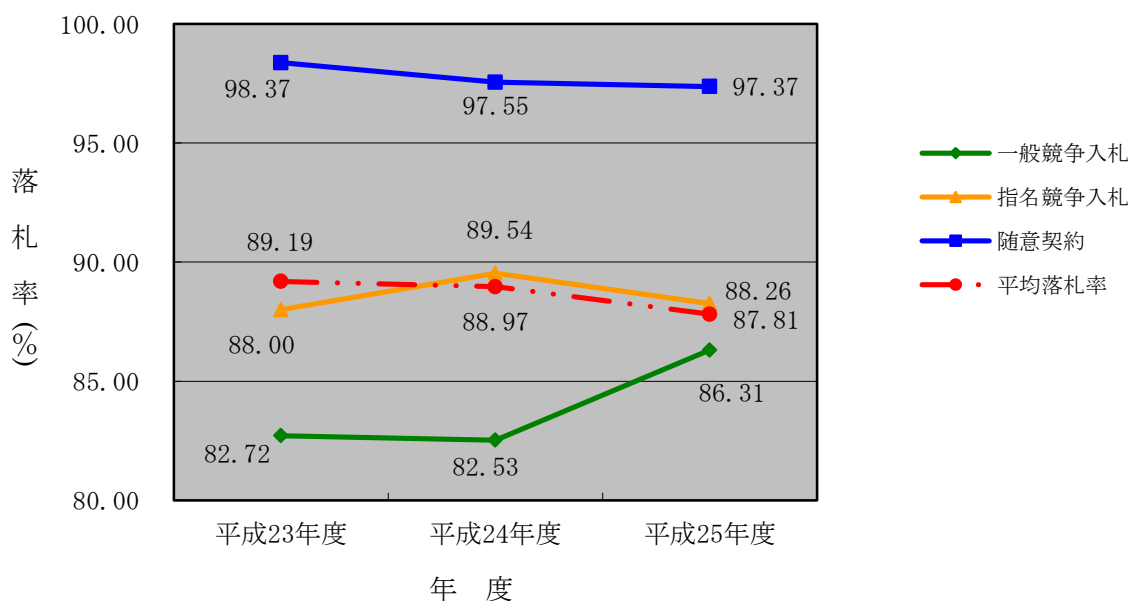
#### (1) 主なデータ

発注方式別の契約状況

(単位:件、百万円、%)

区 分	平成 23 年度			平成 24 年度			平成 25 年度		
	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
一般競争入札	24	130	82.72	72	305	82.53	191	582	86.31
指名競争入札	534	2,545	88.00	394	2,031	89.54	361	2,159	88.26
随意契約	86	591	98.37	28	119	97.55	13	82	97.37
計	644	3,266	89.19	494	2,455	88.97	565	2,823	87.81
一般競争の割合	3.7	4.0	—	14.6	12.4	—	33.8	20.6	—

発注方式別落札率



## (2) 業種別の契約状況

業種別の契約状況

(単位:件、百万円、%)

区 分	平成 23 年度			平成 24 年度			平成 25 年度		
	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率	件数	契約額	落札率
測量	135	350	88.98	88	244	86.61	84	257	83.84
建築関係 コンサルタント	22	224	81.37	11	142	86.55	28	117	79.30
土木関係 コンサルタント	321	2,058	90.12	270	1,676	91.02	290	2,005	89.27
地質調査	68	296	87.18	50	139	83.57	55	193	84.66
補償	98	338	89.60	75	254	88.34	108	251	90.80
計	644	3,266	89.19	494	2,455	88.97	565	2,823	87.81

- ・平成25年度における建設業関連業務委託の平均落札率は87.81%であった。平成23年度及び平成24年度と比較すると約1%下がっている。
- ・最も落札率の変動が大きい業種は測量で、平成24年度と比較すると約3%下がっており、88.98%(平成23年度)から83.84%(平成25年度)と3年間で約5%下がっている。
- ・落札率が最も高い業種は、補償で90.80%であった。平成24年度と比較すると約2%上がっており、90%台を変動し最も高い落札率となった。
- ・落札率が最も低い業種は、建築関係コンサルタントで79.30%であった。平成24年度と比較すると約7%下がっており、70%台を変動し最も低い落札率となった。

業種の年度別落札率

